

登録コード	UAF56500	開講年度	2026	大学院共通科目			
授業題目	発達臨床生理心理学特論					担当教員	宮地 弘一郎
						副担当	
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。					⇔	生理心理学・障害児生理心理学に関する高度な知識・技能を有する。
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。					⇔	生理心理学の知識・技能を障害のある人の発達援助や生活支援に応用する技能を有する。
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。					⇔	多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、生理心理学のアプローチをベースに独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。
(2)授業の概要	発達臨床に必要な生理心理学の内容について、課題研究を行う。また主に電気生理学的方法を中心に、測定法と発達臨床における知見を紹介し、その有効性や課題等を解説する。その上で、障害児の生理心理学研究についてディスカッションを行う。						
(3)授業計画	全て遠隔授業（課題研究，オンデマンド，オンライン）により実施する。 第1回 生理心理学とは／授業ガイダンス 第2回 脳の活動①脳のシステム 第3回 脳の活動②知覚・睡眠・意識 第4回 脳と行動①記憶・学習 第6回 脳と行動②情動・動機づけ 第7回 障害・発達と脳科学①心の病気 第8回 障害・発達と脳科学②その他の関連事項 第9回 脳機能の研究方法 第10回 生理心理学測定法：脳波・事象関連電位 第11回 生理心理学測定法：自律神経系指標・その他の生理指標 第12回 発達臨床生理心理学アプローチ：発達障害 第13回 発達臨床生理心理学アプローチ：重度重複障害 第14回 発達臨床生理心理学の課題と展望（オンライン討論）／授業アンケート 第2～8回は、主に提示課題について資料調査を行い、課題（テスト形式）を提出する。 第9～13回は、主にオンデマンド教材を基に課題を行う。						
(4)成績評価の方法	受講実績、課題成績，討論の成績を総合して評価する。						
(5)成績評価の基準	・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可 発達および障害の理解と支援に関する生理心理学の知識について、習得水準を下記のように評価する。 秀(S)：授業の達成目標の水準から見て卓越している 優(A)：授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良(B)：授業の達成目標の水準よりやや上にある 可(C)：授業の達成目標の水準にある 不可(D)：授業の達成目標の水準よりやや下にある						
(6)事前事後学習の内容	授業の前後に課題を提示する。						
(7)履修上の注意	受講者の主体的な努力が特に強く要求されるので、このことを承知しておくこと。						
(8)質問,相談への対応	相談等がある場合はメールで対応する（アドレスは時間割表に記載）。研究室訪問は常時受け付けるが、なるべく事前に訪問日時を相談すること。						
【教科書】	岡田隆，宮森孝史，廣中直行(著) 生理心理学一脳のはたらきから見た心の世界―第3版.2024，サイエンス社						
【参考書】	授業の中で適宜紹介する。						